

旧黒沢中学校本館

久慈郡太子町大字上郷2604他

国道118号線の下野宮交差点から県道28号線を北へ向かい約4.5キロメートル。県道沿いに旧太子町立黒沢中学校がありました。黒沢中学校は昭和22年（1947）に創立され、閉校する平成25年（2013）の春まで、66年にわたり、約4,600人の卒業生を送り出して



きました。現在は本館などが残され、国の登録有形文化財に指定されています。旧校庭一面には太陽光パネルが設置され、太陽光発電関連事業を手掛ける企業によって旧黒沢中学校全体が維持管理されています。

本館は長さ81メートル、建築面積877平方メートルの大規模な木造二階建て、切妻造^{きりづまづくり}瓦葺^{かわらかき}になっています。正面中央に玄関を設け、中央と両側に階段があります。外壁は下見板張^{したみいたばり}で、漆柱^{しつちゅう}や方柱^{ほうちゅう}を用いた軸部^{ちくぶ}、防火壁や防火扉に当時の技術的な発達が見られ、教室の広い開口部や長い片廊下^{かたろうか}とともに戦後の中学校校舎の一つの典型を示しています。

中学校は、昭和22年（1947）に公布された学校教育法により、義務教育化されました。

その直後に旧黒沢中学校は、当時の地元の方々の強い思いにより、大規模な校舎が建設されました。本館は昭和25年（1950）に建設され、その後、技術教室、調理室及び図書館が昭和26年（1951）に、屋内運動場が昭和30年（1955）に、音楽教室が昭和37年（1962）に建設され、平成26年（2014）12月、「旧黒沢中学校本館ほか4棟」として登録有形文化財に指定されました。

戦後間もなく建てられた校舎群が付属舎とともに、当時の規模のままに残されていることは大変貴重なことです。

茨城教育 第八六六号

令和三年六月二十日発行

編集責任者 鹿志村 則男

発行人 鹿志村 則男

発行所 一社団法人 茨城県教育会

水戸市見和 一三五六―一

電話 〇二九―三二―二七四七

印刷所 有限会社山田軽印刷所